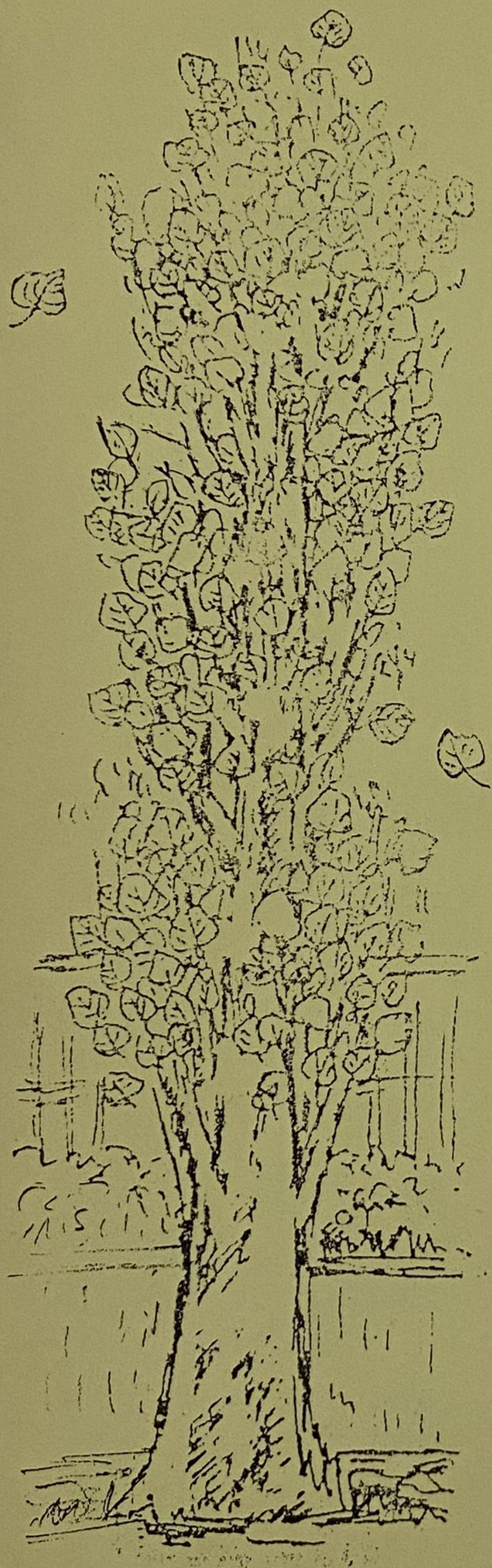


板橋区立大山小学校創立四十周年記念誌

のびゆくポプラ



目次

1	校歌・四十周年写真
2	校舎写真・教育目標
3	創立四十周年を迎えて
4	祝いのことば
6	創立四十周年によせて
9	四十年のあゆみ
12	現教職員
13	全校児童集合写真
14	創立四十周年記念大山小学校「運動会の歌」
14	校医の先生より御祝いのことば
	本校の歩みを支えた先生方
15	同窓会
16	四十周年記念事業実行委員会事業報告
表3	創立四十周年記念事業実行委員会名簿

校歌

勝 承 夫 作詞
平井 康三郎 作曲

一、晴れて 明るい 大空を
仰ぐ校庭 力が 燃える

大山は よい子の広場
あすの希望に かがやいて
のびゆく若木 たのしいわれら

二、光れ校章 なでしこは
つよく やさしく 心にひらく

大山は 平和の泉
みんな なかよく 元気よく
まことをこめて はてなく進む

三、歌え若鳥 この窓は
いつも変わらぬ 自立の誓い

大山は ゆるがぬ姿
あすの日本を うけついで
母校のほまれ あげようわれら





教育目標

一、考える子

二、ねばり強い子

三、思いやりのある子

四、元気な子



創立四十周年を迎えて



創立四十周年によせて

PTA会長 市井 俊夫

大山小学校が創立四十周年を迎えました。心よりお祝い申し上げます。この記念行事を開催するにあたり、多くの皆様方にご尽力を賜りました事、厚くお礼申し上げます。

私も大山小学校の卒業生の一員です。そして、今四十周年を迎えPTAとして微力ながら恩返しができる事を、とても光栄に思っております。私が初めて登校した四十年前の大山小学校、木造二階建ての新校舎、胸をときめかせて登校したことが、今でも脳裏に焼き付いております。体育館もなくプールもない広い校庭、授業の始まるチャイムもなく、用務員さんが鳴らす鐘が合図でした。教室も少なく二部授業、懐かしい思い出がいっぱいです。四十周年を迎えるにあたり同窓会も発足しました。同窓生一同、大山小学校の発展に驚きと喜びを表しております。郷土資料室、レストランかと思うランチルーム、今では昔の名残りを残しているのは、大きくなったポプラの木だけです。そしてポプラのように学校も大きく成長しました。このように四十年間の年輪一つ一つには、歴代校長先生、諸先生、職員、歴代のPTA、地域の皆様方の温かい愛情、熱意ある指導・協力のもと発展を続け、今日に至ってまいりました。この四十年間、教育制度も変わり、月一回第二土曜日の休日も導入されました。これからは、学校、家庭、地域と一体になり、調和のとれた教育を推進していくことが大事だと思っております。子供たちは二十一世紀に向かって、これからの時代を担っていきます。緑に囲まれた環境の素晴らしい大山小学校、ポプラのように大きく大きく成長してほしいと願っております。そして大山小学校が心のふる里となり、同窓生として帰ってきてほしいと思います。これからも輝かしい伝統と歴史を積み重ねて、限りなく発展していくことを祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



学校も生涯学習の場

校長 伴 三男

近年、どこの学校も施設の利用が多くなってきました。その利用者や利用内容は、さまざまですが、地域の人々の生涯学習に関するものが、だんだんと増えています。

大山小学校も、地域の人々が施設を多く活用しています。このように学校が地域の人々の生涯学習に寄与することは望ましいことです。

大山小学校は、これからも地域社会や行政機関の支援を得ながら、校内の施設や設備を充実させ、地域の人々の生涯学習に役立つように努めます。

また、学校は、子供達の生涯学習の基礎・基本をしつかりと身に付ける場でもあります。そのために学校は、教育内容のいっそうの充実に努めています。

大山小学校の教育を顧みますと、研究指定校として熱心に研究に取り組んでいます。特に、知性の育成を重視した教科の指導法の研究で成果を上げています。現在も生涯学習をふまえて、考える力・学ぶ意欲を高める研究を行っています。

この大山小学校で、生涯学習の基礎・基本を身に付けた子供たちは、それをもとにして生涯にわたって学び続け、自己を生かしていくことでしょう。

大山小学校が、地域の人々にとっても、学校で学び、活動する子供たちにとっても、それぞれに生涯学習の場として役立てば幸いです。

私は、大山小学校の創立四十周年に際し、縁があつて出会った人々と周年を祝うとともに、これからの大山小学校が、地域社会の教育の場であり、学習の場になりますように努めます。

また、地域の人々とともに、地域の学校、愛される母校となるように力を尽くします。

創立四十周年を祝して



板橋区長

石塚 輝雄

板橋区立大山小学校が本年創立四十周年を迎えるにあたり、心から喜び申しあげます。

戦後の混乱がようやく収まり、わが国の復興が軌道に乗り始めた昭和二十八年、貴校は板橋第六小学校と板橋第十小学校からの分離児童八二二名をもって開校しました。

開校後は、教育目標の確立など学校の基礎づくりから、児童数の急増への対応、校庭の水溜まりの処理にいたるまで、学校経営には多々困難があつたことと思います。貴校はこれらを果敢に乗り越え、プール、体育館、鉄筋校舎など学校施設が次第に整備されるにつれ、校長先生のリーダーシップのもと、様々な教育研究とその実践に力を注ぐことにより、教育内容の充実に努め、区の小学校教育の進展に大きな足跡を記してきました。

また、地域並びにPTAの皆様には、学校の設立はもとより、通学児童の安全確保、学校の緑化など、多方面にわたり献身的なお力添えをいただきました。学校教育の充実は家庭、地域の皆様との協力関係を抜きには語れないものと、痛感する次第です。

創立四十周年を機に、先人の苦勞を偲び、幾多の教育課題の解決に向け、心を新たにすることはとても意義深いことと思います。今後ともますますの発展を期待しております。

おわりに、これまで輝かしい歴史と伝統を築いてきた、歴代校長先生と教職員の皆様、保護者、PTA、地域の方々のご理解、ご協力に厚く御礼申しあげ、お祝いの言葉といたします。

創立四十周年を祝して



板橋区議会議長

大野 喜久雄

板橋区立大山小学校創立四十周年、誠におめでとうございます。本校は、昭和二十八年に開校され、我が国の復興期から高度成長そして今日に至る四十年間を幾多の社会情勢の変遷とともに歩んで参りました。

開校以来、本校におきましては、プールの建設をはじめ、体育館の建設、校舎の鉄筋化など学校施設も着々と整備されると同時に、教育内容も年々充実され、今日、名実ともに初等教育の場としての地位を築かれておりますが、これはひとえに歴代の校長先生並びに諸先生方の教育に対する限らない情熱の賜と深く敬意を表するものであります。又PTA各位をはじめ地域の皆様方の学校教育に寄せる暖かいご理解と協力によりお力添えを頂いておりますことに、心から感謝申しあげるところでございます。

申すまでもなく、小学校におきます児童の教育は、各教科の基礎的な能力を養うことはもとより、学校内外の社会経験に基づく人間相互の関係を正しく理解し、協調と自立の精神を醸成することにあります。

区議会といたしましては、児童教育の重要性に鑑み、学校と地域そして区と一致協力して、学校施設・設備の充実など教育環境の整備に一層努力を傾注して参る所存であります。

創立以来四十年の長きにわたる本校の歴史は、誠にかげがえのない貴重なものであります。この歴史を更に意義あるものとし、子供たちが未来に向かって明るくたくましく成長することを心から願うものであります。最後になりましたが、伝統に輝く大山小学校が、二十一世紀に向けて、ますます発展されますよう心からお祈り申しあげ、私の挨拶といたします。

創立四十周年を迎えて



板橋区教育委員会委員長

大野 邦雄

区立大山小学校の創立四十周年おめでとうございます。心からお喜び申しあげます。

地域の方々の熱心な学校設立運動により、なでしこが原と呼ばれたこの地に本校が設立されたのは、昭和二十八年のことでした。四十周年にあたり、改めて本校の歴史を顧みますと、常に小学校教育の進展に向けて努力を重ねたこの間であつたと思います。特に、算数、理科、情操教育、生活指導といった多岐にわたる区研究奨励校としての教育研究とその実践は、高い評価を得、本校のみならず他校の充実発展にも大きく寄与するものでした。情熱あふれる先生方と児童、PTAが一体となったことにより、はじめて成し得たものと言えましょう。

本校では、研究熱心な校風は今に受け継がれ、本年度は「自ら考え、意欲的に取り組む児童の育成」を研究主題として、指導法の一層の向上を目指し、力を注いでいます。

昨今、教育には基礎学力の充実はもとより、自主的・自律的な児童の育成が強く求められています。本校のこの様な取組は必ずや社会の期待に応えるものと確信しております。あわせて、地域との関わりを大切にした教育活動、きめ細かな読書指導など、個性ある教育活動を今後とも進めることにより、本校が一層の発展の途を歩むことを願ってやみません。

おわりに、本校の発展のため並々ならぬご尽力をいただいた歴代校長先生をはじめ教職員の皆様、保護者、PTA、地域の方々に心から敬意と謝意を表し、お祝いの言葉といたします。

創立四十周年に寄せて



板橋区教育委員会教育長

松澤 剛

板橋区立大山小学校創立四十周年、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

本校は、昭和二十八年九月一日に児童数八二二名、十五学級で開校いたしました。以来、四十年間、本校の充実発展にご尽力をされました、歴代の校長先生をはじめ、教職員、保護者、地域の皆様のご努力に感謝と敬意を表する次第であります。

本校は、昭和三十六年「区道徳研究奨励校」、昭和四十四年「区理科研究奨励校」、昭和四十六年「区生活指導研究奨励校」、昭和五十年「区情操教育研究推進校」、昭和五十六年「区算数研究奨励校」、昭和六十年「区安全教育推進校」、昭和六十二年「全国安全教育研究大会」の発表等を行い、着実にその成果をあげ、教育内容の充実した素晴らしい学校に発展してまいりました。

昭和三十三年には、アジア競技大会の開会式には都を代表して鼓笛隊が出演し、万来の拍手をうけたと聞いております。また、交通安全教育も熱心に取り組み、平成四年「警視庁交通部長賞」の表彰を受けるなど輝かしい歴史を刻んでおります。

今日、学校教育では、社会の変化に主体的に対応ができる柔軟性や創造性を持った国際性豊かな人間を育てることが、重要な使命となっております。大山小学校の四十年の積み重ねを土台にし、本校の伝統である教育研究を更に継続・発展させるとともに、未来を展望しながら次代を担う世界の一員として必要な、豊かな心とたくましく生きる力を持った子どもたちを、学校と家庭そして地域が一体となって育てていただくことをご期待申し上げ、お祝いの言葉といたします。

創立四十周年によせて



教育目標設定の思い出

第二代校長

稲葉捨己

昭和二十八年九月一日に開校した大山小学校に、第二代校長として私が着任したのは昭和三十一年四月一日であった。

来るべき創立五周年を迎える記念事業に、「教育目標を改訂しては」というのが、教職員間の懸案になっていた。教育目標は全教職員・保護者PTA・及び学区の学識経験者等の協力によって作成されるべきものと思い、広く各階層の意見を徴して、つぎの三つの原理を大きな柱とした。

一、近代的な人間性の開発

二、民主的な日本国民の育成

三、世界の平和と、人類の福祉に貢献する世界人の育成以上の三原理は一見して高嶺を仰ぐ感じがするので、それに達する道は近い所に求めることが教育現場にとって特に必要であるとの観点から、一時間の学習活動や行事の中に於いて、一人ひとりの子供の瞳に明日の喜びが溢れ、子供が胸を張って自分の足で歩くように決心させるために、三原理についてそれぞれ項目を立てた。更に幾つかの細目をも設け、各学年毎に具体的な実践目標を作つて指導の目安とし、児童の為には不断の努力を期待して標語を作成した。こうして昭和三十一年六月十日に本校の教育目標は完成した。

十月十日、板橋区小学校長会の研究発表会に於いて、私が「最近の国際情勢と本校教育目標との関連」について発表した。

十一月二十日、わが大山校を会場として、東京都教育庁ならびに各区市教育委員会の指導主事合同研修会が開催された。その際特に要請があったので、私が「本校教育目標設定の経緯」を口頭発表したところ、絶大な賛同と身に余る讃辞を受けたのは、まことにありがたい生涯の思い出になったのである。



校舎改築当時の思い出

第八代校長

川村義昌

私が在任中に、現在の校舎の建築工事が完了し、新校舎の落成式と二十周年記念式を兼ねた式典を挙げられたことが、今一番強く思い出となっています。新しい校舎は明るい感じのするように、外壁は色彩豊かに、特に日陰になる北側は、思い切つて、鮮やかな色付けをした。また、玄関入口の正面には色タイルを用いたモザイク模様の大壁画を描き、ホテルのロビー風に広々としたホールを設け、ゆつたりとした感じを出した。その他校舎内の手洗い場にも色タイルでモザイク模様の装飾をしたり、階段や廊下の所々に、ガラスブロック張りや明るく美しくなる工夫をした。石油ショックの影響で、計画は縮小せざるを得なかったが、全体として明るい色と照明で、校舎内外は大変美しく生まれ変わり、今までの学校というイメージからは考えられない斬新なものだったと思っている。校庭の舗装も当時としては最新のもので、他校には見られない素晴らしいものだった。落ち着いた色どり、柔らかく弾力があり滑りにくい舗装のお陰で、校庭の水溜まりも砂塵の舞い上がることもなくなり、雨が上がればすぐ運動場として使用でき、子供達は安心して喜んで遊んでくれた。使い始めの頃は、椅子や机の足で舗装面を傷めないだろうかと気遣った程、大事にしたものでした。

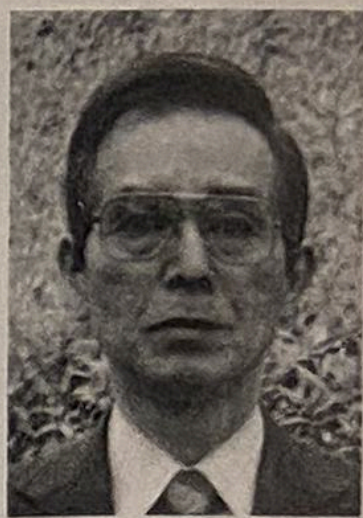
校舎の改築後、花壇やその他舎外の整備を進めたが、特に校門付近の植え込みや観察池の設置は、すべての職員の手作業によるもので、時には夜になるまで汗を流した。懐かしい思い出の一つである。

あれから二十年。いつの間にか過ぎてしまったが、今でも校庭のポプラと共に元気に遊んだ子供の姿が目に見えて来ます。これからも、大山小の一層の前進を祈っています。

ご発展を祈る

第七代校長

坂本 守



昭和五十年の春、私は第六代川村校長の後を継がせて頂くことになり、大山小学校に着任いたしました。たまたま学校がまぶしいほどの鉄筋新校舎に改築され、しかも開校二十周年を終えたばかりでしたので、校内は生新の気に満ちていました。

私は立派な学校に着任した喜びでいっぱいでしたが、しかしそれ以上に責任の重大さに強い緊張を覚えたことを記憶しています。それから三年、私は駄馬に鞭打って無我夢中の毎日を過ごしました。この間曲がりなりにも任期を全うできたのは、ひとえに明るく元氣な子供たちに励まされたこと、仕事熱心な教職員の皆様方に支えてもらったこと、そして地域の方々の暖かいご支援があったればこそと感謝しています。

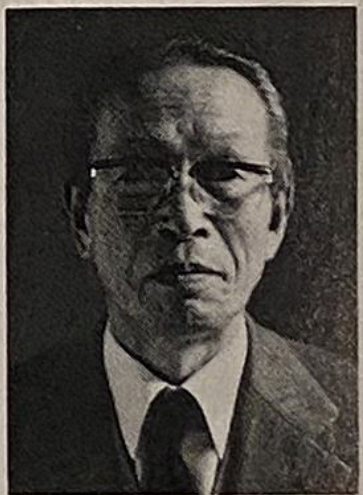
特にPTA役員の皆さんには本当にお世話になりました。私の任期中、入倉徳明会長、中村三平会長のお二人が要となつて、会の運営にご尽力頂きました。学校に対して陰に陽にご配慮くださった役員の皆さんのご恩は今も深く心にやきついています。

校長室には以前から「和」と書かれた額がかかっていました。私の大好きな言葉でしたのでそのまま大事にさせて頂きました。よい学校とは地域と学校とが渾然一体となつて運営されている学校、和の精神のみち満ちている学校だと私は確信しています。大山小学校には今もこの心が脈々と流れていることと思います。大山小学校が記念すべき四十周年を契機として、さらに力強く発展されることを心からお祈り申し上げます。

創立四十周年を祝う

第八代校長

石井 定男



板橋区立大山小学校が創立四十周年を迎えることを心からお祝いしたいと思います。

四十年という年月は、大きな意味をもっています。学校が創立した頃に学んでいた子供達は、今、社会の中枢として次の世代を担う子供達の父親、母親として活躍しています。

私が在職していた頃は、児童数が八百名を超え、教室もあまり余裕はありませんでした。

この四年間の思い出は数多くあります。校庭に聳え立つポプラは、隣接する交通公園を借景に豊かな緑が心を和ませてくれました。全校写生会では校舎と共にこの緑豊かな自然がテーマに描かれていました。

高学年と低学年が、手をつないで川越街道に沿って板橋公園まで歩いた全校遠足。高学年の子供は、甘える低学年の子供の世話で目的地についたときはべつたりしていた様子が目に浮かびます。

運動会当日の朝まで降り続いた雨の水溜まりを父兄の方達が総出の雑巾がけ。ウオークトップの運動場の痛んだ穴を先生や主事さん達でセメントを塗り込んで修理したこと。

また、当時の会長さんの発案で、PTAだよりに学校の教育目標を枠囲いで掲げ、家庭の理解と協力を図ったこと等、次々と昨日のことのように思い出されます。

大山小学校の輝かしい歴史と伝統は、区当局、区教委、地域、PTA、教職員の皆様が学校、子供に限りない愛情と情熱を注いでくださったお陰です。心より感謝致します。

「古くして古きものは滅びる。新しくして新しきものは滅びる。古くして新しきものは永遠に栄える」という諺があります。大山小学校が、歴史と伝統を守りながら常に新しく、一層の発展をされんことを祈念します。



三十周年当時の大山小を回想して

第九代校長

村田 績雄

昭和五十年代の半ば頃になると、高度経済成長の歪みが次第に表出してくる。漸く、物の豊かさから心の豊かさへの回帰が、人々の視野に入ってはきたが、学校では、全都的にさまざまな問題が発生した時代でもある。

大山のことも達の、明るく素朴な特性は好ましいものであったが、世相の影響に対して例外ではなかった。学校は変革を迫られていたのである。当時の教職員は、その自覚のもとに研究を実践的な指導法に集中し、指導体制を整えて教職員と主事が一体となり、こどもへの取り組みに精魂を傾けたのである。

苦しみ悩む中で創意工夫が生まれ、相互の信頼感や連帯感が育ち、協働の和が醸成される。自浄能力も健全に作用して、高い教育力を保有する職員集団が形成されていった。今もなお、当時の職員間の親交は絶えない。

したがって、こども達の上に歴然と効果が現れてくるのは当然としても、それには、父母の信頼と、PTA・地域諸団体の絶大な援助と協力があつたからこそと思う。

また、盛大に挙行された三十周年記念行事の成功は、いまもって感銘深く、尽力された方々への感謝の念をあらたにしている。さらに、全職員の底力は、諸研究発表会を催したり、幼・小・中・高校が参加する学校安全教育大会を、本校で開催して授業を公開し、全国へ資料提供の役割も果たした。

そのような教職員と主事、PTA・地域の人々は大山小学校の柱であり、第一に当時の校長自身である。



大山小学校の四季に思う

第十一代校長

岩木 重夫

△春△赴任した最初の日曜日に登校しました。私物の搬入と学区めぐりを兼ねて登校しました。学校のまわりには、たくさんの樹木が植えられていました。二十数本もある桜が満開に咲きほころびました。地域の方々が満開の花の下で春を楽しんでいる姿が今でも強く印象に残っています。

△夏・秋△運動会・町会連合運動会・区民祭りパレード等で上学年の子供達が、マーチングバンドを熱心に演奏してくれました。在籍数が少ない子供達ですが、勝るとも劣らない演奏をしていました。真夏の盛り、蒸風呂のような体育館で練習していた子供達の姿が、これも強く印象に残っている一コマです。

△冬△サザンカがたくさん咲いています。一年生が寒いなかで咲いている花を囲んで話し合っていました。開花しているサザンカに関心をよせていた子供達も思い出の一つです。

創立四十周年おめでとうございます。この伝統ある大山小学校の一職員として勤務させていただいたことを誇りに思っております。

昭和二十八年、麦畑のなかで誕生した本校も、地域の方々、区役所・区教育委員会の方々、本校に携わった諸先輩の先生方・職員の方のご努力とご尽力によって、区内一、二位を誇る学校に成長してきました。

少しでも潤いのある学校にしようと、植樹をしてくださった地域の方々のご努力も一例です。新しい教育活動にふさわしい施設にご尽力くださった行政の方もその一例です。

厚く御礼申し上げます。

四十年のあゆみ



広々とした校庭

第五代会長

鈴木 幸一郎

私達の大山小学校が開校するまでは、第五小学校、第八小学校、第十小学校に子供らを通学させていました。それぞれ川越街道やバス通りに面した学校で、登下校のときの自動車洪水の中を横切る不安がいつぱいでした。

それがやつと念願が通つて「なでしこの原」といわれた大山小学校に移つたのですから父兄の喜びはひとしおでした。私も四年生と一年生の長女・二女を第八小学校から広々とした校庭のある大山小学校へ通学できるようになつてホッとしたものです。春には桜が咲き秋には銀杏が黄に輝いて、校庭いつぱいに広げられる運動会に見物に行くのが楽しみでした。

それから四十年、静かな住宅街の中も、都営住宅が鉄筋に装いを新たにし、大山小学校も体育館、プール、鉄筋三階建てと次々近代化されました。広々とした校庭で体育の時間をのびのびと学んでいる姿をみるにつけ、隔世の感があります。先生方、父兄の方々もこれからも温かい指導下さるよう祈ります。



大山小の桜

第六代会長

春原 重春

大山小学校は昭和二十八年、麦畑に建てられました。

その当時の学校周辺には、千川が流れ、両岸の土手には、春先ともなると、桜がともきれいに咲き、秋には当たり一面に撫子が咲き乱れ、人々の目を楽しませてくれたものです。

板六小、板十小から八二名の子供達が分かれ、十九名の先生方に引率されて、開校式を迎えました。開校当時の校庭には、日陰になる樹木がなく、子供達に日陰をと、PTAで協議し、野外映画会を催し、その収益でよしずを買いしました。

後生の事を想い、校庭に桜の苗木を買つて植えたのが、今現在、入学式の頃に満開になつて、子供達を祝つてくれている桜です。

これからも、この桜は大山小学校の歴史を見つめ、見守つてくれることと思います。

大山小学校の先生方、PTAのますますの発展を祈念致します。



御縁に感謝して

第七代会長

永井 萬治

この度創立四十周年を目出度く迎えられ、心よりお祝い申し上げます。光陰矢の如しと申しますが、あの長く苦しみぬいた戦争が終わつて半世紀近くなります。世界一の経済大国になつた今日、間もなく迎える二十一世紀を担つて行く子供達に私共親として何を伝えるのこさなければならぬかと心痛める今日この頃であります。

私も今から三十年前にPTAのお手伝いをさせて頂きました。校舎も木造二階建てで、生徒は現在の数倍居り二部授業でした。校庭も運動会の前日雨が降りますと、皆で雑巾がけした事も今では楽しい思い出です。

今、物が豊かになり過ぎて、心の豊かさを失つてしまつてはいないでしょうか。本校でも感謝の心を持てる人にならなさいと教えて頂いてあります。折角、この地域に素晴らしい伝統の大山小学校に御縁を頂いた私共です。輝きき二十一世紀、そして創立五十周年に向かつて校庭のポプラの様にたくましく、限らない発展を続けます様心よりお祈り申し上げます。

「仰げば尊し」

第九代会長

佐野 幹夫



私の時代は三十年前に遡る。当時の校舎は木造「二階建」一棟、職員室は木造「一階建」だけだった。校長は金子芳夫先生から高井光二先生に替わったが教頭は相川先生という威厳のある構成で、戦前の師範教育で培われた理想の哲学をお持ちの為かキリリと光るものが感ぜられた。

体育館のないのをいたく嘆かれ、我々PTAとも相談なされ地主や教育委員会にも請願を行い昭和四十四年漸く竣工し全校をあげて盛大な祝賀会を催したことは我々の語り草になっている。その後、区の予算が裕福になった為か、次々と鉄筋校舎になり今や設備も近代化され子供達にとっては誠に理想ともいふべき学校になったことは喜ばしい限りである。と同時に教育内容は、私共少年時代とは雲泥の差で、方針も授業技術も、教師と生徒も、全く異質なものになったことは想像に絶する変化であろう。

然しこの様な変化の中で変わって欲しくないものは、師弟間の愛情と尊敬の念である。

私は小学校の卒業式に「仰げば尊し」を歌った。そして滂沱として自然に流れる涙をこらえることが出来なかったことを今でも忘れることが出来ない。

泥んこでまみえた

二十周年

第十一代会長

清水 義雄



私がPTA役員にさせて頂いたのが昭和四十二年、会長は佐野氏副は小路氏でした。お二人とも論客で教育熱心な方には舌をまいた。この年体育館が着工された創立十五周年の記念事業と聞かされた。完成された体育館にて都主催の図工研究会が華々しく開かれ全都の先生が集った。PTAの出番に腕がなつた。四十五年に小路会長が就任、夏は岩井海岸の臨海学校にかり出される。その小路氏も急逝された。あけて四十七年私が会長になり川村校長が赴任された。その夏に突如として校舎の解体工事が始まる。運動場は足の踏み場もない程。プレハブ校舎の急造で、ひっちゃかめっちゃかの修羅場となる。冬は寒く夏は蒸し風呂のトタン屋根での勉強、みんなよく耐えた。四十九年二月に新校舎へ待望の引越、屋上で富士山を展望し感激一入！早速創立二十周年記念式典が開催された。オイルショックの為、建築資材の高騰で予算の手直しに終始する。先生も生徒もみんな泥んこの厳しい時でした。

誇り高い大山小

PTAをめざして

第十二代会長

入倉 徳明



四十周年を迎えられ心よりお慶び申し上げます。私は清水さんの後二年間会長を務めました。校舎も新しく出来、当時としてはモダンで設備も立派になり、丁度二十周年事業の後ですが、児童数も八百名を超えていたと思います。PTAも種々課題も多く、兎に角出来ることから積極的にやろうと先生始め役員一同頑張ったつもりです。順は不同ですが記憶をたどって記しましょう。先ず規約改正に取り組み会員相互のコミュニケーションの場作りと考え会員名簿作りを福田教頭の手作りから始めました。防災頭巾を校帽の色に合わせて全員に配布しました。赤電話を設置し皆さんから大変喜ばれました。青少年委員も兼ねていたので特に地域との連携を深め学校ふる里を旗印に野球大会、バレーボール大会等、又、二中の校庭に於いてキャンプファイヤーを楽しんだ思い出。板橋PTA連合会会長として大山小PTAに東京で始めて海部文部大臣より団体賞を受けられた事は、私の記念品です。

大山小創立四十周年 に寄せて



第十五代会長
鴨志田 将男

さくら咲く春、新一年生に「卒業迄、一人でも多くの友達が出来た人が良い子なのです」と云い。卒業式の日、先生方に「子供達に希望と勇気を与えて頂き有りがとう」と感謝し。

PTA総会で「明るく楽しい活動の中から心豊かな子供を育てよう」と提唱し、通算八年間役員として微力をつくしたのも十年前のこととなりました。十、二十、三十と周年行事に尽力して頂いた当時の現役会長の方々が、今四十周年の実行委員会に顔合わせ出来、変わらぬ熱意を示めされていることに感激している次第です。

十年と云う歳月は激動の時代ではひと昔前の感をさせますが、父田と教師と地域の人々と一体になった本校の周年行事は、その中味に於いて変わらぬ感動を与えるものだと思います。

十周年記念行事を支えた関係者も、今四十周年記念行事を支える関係者も同じ感慨を覚えるのではないのでしょうか。加えて十年を周期にPTAがどうあるべきか、を考える契機にすれば尚一層の意義を見出すことが出来るのではないかと考えます。

限られた字数で多くを述べられないことが残念ですが、十年前同時期に共に活躍した方々に、嬉しい想い出を有りがとう……。

そして今四十周年記念事業を成功させた現役の方々、ごくろうさま……。

末筆ながら子供達の将来と、大山小から飛び立つ子供達の基地として発展することを祈念しつつ筆を置きます。

大山小雑感



第十六代会長
石井 康雄

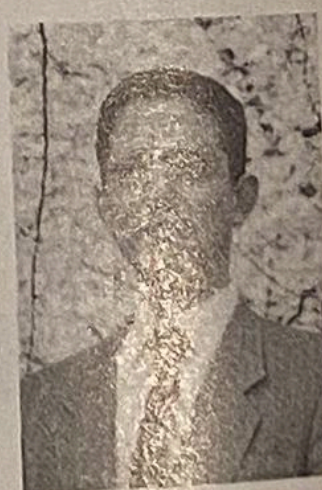
青い空に入道雲、どの子も口焼けて真っ黒。

担任の久木田先生や友達の顔。夜の浜辺でのキヤンプファイヤー。海の香りまでも想い出させてくれる一枚の写真の裏には「昭和30年岩井臨海学校6年」と拙い字で記されています。あれから40年近く過ぎ去った今でも鮮明に記憶がある大山小学校6年生の時の写真です。この懐かしい母校へ子供がお世話になり、ましてPTA役員として参加しようとは思ってもよらない事でした。在任中は30周年事業があり、当時の村田校長先生はじめ諸先生方のご指導のもと各町会

長地域の方々の協力、そして何よりもお母さん方のあの行動力、これらが一つになり大きな力となつて意義のある記念事業となりました。振り返つて見ますと私にとってPTA活動は多くのの方々との出会いの場であり学習の場でした。それらの事が多少なりとも役に立っているのではないかと思う時があります。末尾になります

が、大山小の益々の発展と青い帽子の子供達の健やかな成長を願いつつ。

学校はふるさと



第十七代会長
石突 攻

栄えある創立四十周年を迎えられ心からお祝い申し上げます。私はご縁あつて昭和六十一年度の春、副会長を仰せつかりました。そして村田校長先生と歴代会長にPTAの手解きを授受され、三三三三縁日や映画会をPTA会長のものと実行しました。

翌年、澤邊校長先生が赴任され、同時に私が会長に推挙され近隣校（八校会と称す）で情報交換を深めさせて頂きました。二年間の澤邊校長先生の在職中、「学校ふるさと」を会員の協力を得て推進し、地域の風物誌として三三三三縁日、リサイクル運動の定着、ソフトボール・卓球大会、周年に向けてのバザー活動等ご指導頂きました。また、同窓会発足を楽しみにされ「周年には会いましょう。人生一生懸命です。」とお話し下さいました。改めて澤邊先生のご冥福をお祈り致します。

平成二年に岩本校長先生が着任、在職中も二年間会長を務めさせて頂きました。思いおこせば素晴らしい教育と言う天与の素質をもたれた三人の校長先生に恵まれ、学校の内外も見事に一新され、教育内容も充実した大山小学校になりました。先生方の意を継いで、増々のご発展をされますよう祈念致します。

校歌

はれてあかるい
おおぞらを
あおく校庭
ちからがもえる
大山はよいこの
ひろば
あすのきぼうに
かがやいて
のびゆく若木
たのしいわれら
ひかれ校章
なでしこは
つよくやさしく
心にひらく
大山は平和の
いずみ
みんななかよく
げんきよく
まっすぐに
はてなすすむ



現教職員 (写真掲載順)

丸山 実 教諭	松島 康明 教諭	石川 禎一 教諭	深山 睦美 主事	三上 文江 主事	前田志磨子 事務主事	真貝 栄子 教諭	井川 正男 主事	山崎 修司 教諭	塘 博己 主事
高橋 慎二 教諭	川島 直人 教諭	石川 衣代 教諭	蓮田 眞知 教諭	伴 三男 校長	一ノ瀬喜子 教頭	加子 清美 主事	米田 洋子 主事	池田 文子 教諭	山本 秀明 主事
	関根 則子 教諭	常岡えい子 教諭	佐藤 静子 教諭	高橋美代子 教諭	船木 久子 主事	伊東 和子 教諭	中村かほる 教諭	森 トキエ 主事	安達 敬子 主事



創立40周年記念

大山小学校 『運動会の歌』

作詞／大山小学校児童

補作詞・曲／伊原福富・土田明人

広い大空に 光る汗を飛び散らせ

このグラウンドで みんな輝こう

燃える 燃える 燃える瞳で ゴールを見つめ

ただ ひたすら 無心に走り抜くとき

きつと 何かが広がる 体に

きつと 何かが見えるよ 心に

広い大空に 光る汗を飛び散らせ

このグラウンドでみんな輝こう

仲間 仲間たちの力で 大きな夢を

今 ポプラの樹の下に 描き出すとき

きつと 何かが広がる 体に

きつと 何かが見えるよ 心に

広い大空に 光る汗を飛び散らせ

このグラウンドで みんな輝こう

校医の先生より



耳鼻咽喉科
矢澤 乙彦

創立四十周年によせて

宇宙へも行ける夢のある時代を迎えましたが、振り返れば、どこもかつての豊かな自然環境はうすれ淋しい思いがします。

年々急速な都市化の影響により、昔と今では病氣もいろいろと変わってきました。

学校医としては、まだ三年ですが、私も二十一世紀へはばたく子供達のため、微力ながら力を尽くしたいと思っております。

大山小学校の一層の発展を心よりお祈りいたします。



内科
青木 高仁

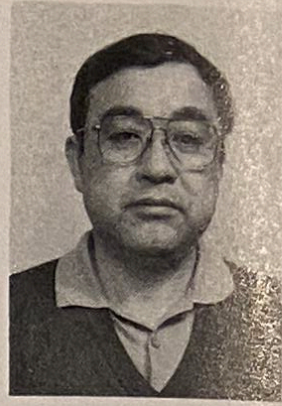
創立四十周年を祝して

区立大山小学校の創立四十周年にあたり、心からお祝い申し上げます。四十年の間には、社会構造、教育環境は目まぐるしく変化してきました。また家庭での生活環境も大きく変わり、児童の体格もひと昔前に比べかなり良くなりましたが、コレステロール値の高い児童、アレルギー体質の児童も増えてきました。健康であり、心身共に学校で鍛錬し、がんばっていただきたいと思えます。今後の大山小学校の更なる飛躍を期待しております。

本校の歩みを支えた先生方 (昭和59年度以降在職) (敬称略)

室田 久美	52	2	1	1	61	4	1	1	1	31	転入
岩井 裕	52	4	1	1	62	3	3	31			転出
和田 祐子	53	4	1	1	61	3	3	31			
中沢 悦子	54	4	1	1	62	3	3	31			
直井 ゆう子	54	4	1	1	61	3	3	31			
勝村 美智子	55	4	1	1	60	3	3	31			
日比 茂樹	55	4	1	1	60	3	3	31			
白井 吉宗	55	4	1	1	63	4	1				
相馬 春美	55	4	1	1	63	3	31				
吉越 和江	55	4	1	1	62	3	31				
瓜生 佐門	56	4	1	1	60	3	31				
森 博子	56	4	1	1	60	3	31				
大原 雅榮	56	4	1	1	62	3	31				
伊藤 久子	56	4	1	1	63	3	31				
佐山 直美	56	4	1	1	63	3	31				
岸 和子	56	4	1	1	63	3	31				
鈴木 正一	56	12	1	1	62	3	31				
村田 績雄	57	4	1	1	62	3	31				
小林 繁樹	57	4	1	1	63	3	31				
中原 義之	58	4	1	1	63	3	31				
濱中 常雄	58	4	1	1	62	3	31				
白柳 けい子	58	4	1	1	61	3	31				
木川 京子	59	4	1	1	61	3	31				
熊谷 淑江	59	4	1	1	62	3	31				
伊東 英明	60	4	1	1	62	3	31				
塩野 京子	60	4	1	1	61	3	31				
永田 教子	60	4	1	1	61	3	31				
伊藤 みどり	60	4	1	1	61	3	31				
奥山 道博	60	4	1	1	62	3	31				
尾上 庄三	61	4	1	1	62	3	31				
水沼 静	61	4	1	1	62	3	31				
木村 洋美	61	4	1	1	62	3	31				
伊奈 祐子	62	5	1	1	63	3	31				
山崎 喜美子	62	8	2	1	63	3	31				
澤邊 友徳	62	4	1	1	62	3	31				
小林 和子	62	4	1	1	62	3	31				
松波 めぐみ	62	4	1	1	62	3	31				
秋田 美也子	63	4	1	1	62	3	31				
渡邊 松枝	63	4	1	1	62	3	31				
勝股 幹子	63	4	1	1	62	3	31				
萩原 節子	63	4	1	1	62	3	31				
新山 富弥雄	63	4	1	1	62	3	31				
岩本 重夫	63	4	1	1	62	3	31				
奈良孝之助	63	4	1	1	62	3	31				
釘 はつえ	63	4	1	1	62	3	31				
東海林 フツエ	63	4	1	1	62	3	31				
市来 きよ子	63	4	1	1	62	3	31				
大越 紀子	63	4	1	1	62	3	31				
大橋 正子	63	4	1	1	62	3	31				
佐藤 千代	63	4	1	1	62	3	31				
安田 洋子	63	4	1	1	62	3	31				
古賀 のり子	63	4	1	1	62	3	31				
柿本 順子	63	4	1	1	62	3	31				
山際 明世	63	4	1	1	62	3	31				
大垣 チエ子	63	4	1	1	62	3	31				
嶋野 カツ	63	4	1	1	62	3	31				
高野 由喜子	63	4	1	1	62	3	31				
菊池 章江	63	4	1	1	62	3	31				
熊野 照美	63	4	1	1	62	3	31				
内藤 なか子	63	4	1	1	62	3	31				
吉野 麗	63	4	1	1	62	3	31				
菊池 章江	63	4	1	1	62	3	31				
柴田 幸子	63	4	1	1	62	3	31				
喜田 優子	63	4	1	1	62	3	31				

同窓会



同窓会 会長

長澤 英男

創立四十周年おめでとうございます。私も一卒業生として大きな喜びと共に今ペンをとっている所です。

私が疎開先の石川県から上京し、第八小学校に転校したのが昭和二十七年小学校一年生の春でした。それから二年後、大山小学校が開校して移ったのが四年生の時です。開校当時の大山小学校は、木造モルタル二階建てペンキの強い匂いばかりが印象に残る校舎でした。校庭のまわりには雑草と背の高い蘆がおい茂り、大山小学校シンボルの正門脇の桜の木もまだ小さく、赤土の校庭は、雨が降った後はぬかるみで体育の時間、運動が出来なかつたのを思い出します。あれから四十年、早いものです。大事もなくこの創立四十周年を迎えられたことは、とりも直さず歴代の諸先生方を始め、PTAの皆さんの奉仕活動、そして地域町会の御協力のたまものではないかと思ひます。同窓会の先輩として私達が生徒の皆さんに望む事は、お父さん、お母さん、そして学校の先生方が、皆さんに注いでくれる大きく深い愛を忘れることなく、皆さんも他に向ける思いやりの心を常に持ちつづけて成長してほしいということです。

私達同窓会も、学校、各町会と横の連絡を密にとり、種々のイベントを通し、今以上によい学びの環境と、生活環境をつくりあげ維持していく事が第一の目的ではないかと思っております。この創立四十周年という大きな節目を機に、大山小学校のさらなる発展を祈り、又合わせて皆様の御健勝を心よりお祈り申し上げます。



平成5年度同窓会役員

武田ハナエ
田口 鋭
林 字

相澤 絢子
長岡 律子
市井 俊夫
長沢 英男
津村 進
塩原 誠二
(塩原雅子)
(加藤茂雄)
(岩田しおり)

同窓会幹事一覧表

1期	塩原雅子	//	大塚武弘	2期	長沢英男	//	長岡洋子	3期	相澤絢子	//	田口 鋭	4期	市井俊夫	//	林 学	//	武田ハナエ	5期	津村 進	//	荒井清美	6期	鈴木省吾	//	伊豆野進平	8期	海老原真澄		
//	田部正久	//	神山文男	9期	川田 恵子	10期	石川 勉	11期	石井規雄	12期	塩原誠二	//	安藤雅子	//	山本恵子	13期	加藤茂雄	//	稲垣政義	//	古川恵子	14期	前川信子	//	菊池真理子	15期	吉沢和代	16期	岩田しおり
//	浅川恵子	19期	清水公一	24期	津田手児名	26期	北澤光生	27期	津田大知	28期	進藤照美	30期	進藤正春	31期	長尾久美子	32期	中島孝之	33期	春原隆志	34期	笹岡 円	35期	豊田一男	36期	笹岡 周	37期	浦和一隆	38期	中島克枝

四十周年に思う

教頭

一ノ瀬 喜子



創立四十周年記念にあたり、教頭として皆さんと共に祝うことができますことを、たいへん光栄に思います。

本校に着任しまして、四回目の秋を迎えようとしています。この間、学校の内外が大きく変わりました。新しい教育の方向性が示され、それに伴って学校の施設、設備も充実してきました。学校の森、ランチルーム、展示室など、どれ一つをとっても新しい教育にふさわしいものです。これもひとえに、区関係者の皆様、地域の方々、歴代の校長先生、教頭先生方のご努力の賜と、深く感謝いたします。今後は、更にこれらの施設の有効な活用のために、教頭として全力で努力して参るつもりであります。

記念すべき四十周年にあたり、大山小学校のますますの発展を祈念し、挨拶とします。

平成五年度PTA役員

文字山ヨシイ 中島 勢津子
山本 恵子 伴 三男校長
古川 恵子 市井 俊夫
森本 礼子 一ノ瀬喜子教頭
増岡奈美子



心を一つにして

大山小学校PTA副会長

中島 勢津子

大山小四十周年という節目を迎えるにふさわしく校舎の外壁も美しく塗り変えられ、理科室、家庭科室等もすっきりきれいになり、児童達は素晴らしい環境の中で、明るく、元気に充実した毎日を過ごさせて頂いています。

大山小の益々の発展と児童の真の幸せを願って、役員一同微力ではございますが、心を一つにしてこれからも取り組んでまいりたいと思います。

ます。

周年行事に際しまして、先生方、OB、町会、地域、PTA会員の皆様の温かいご協力をいただきました事をここに担当者一同心から厚く御礼申し上げます。

四十周年記念事業実行委員会事業報告

平成三年十一月 十七日 第一回バザー開催
平成五年 七月 四日 第二回バザー開催
平成五年 九月 二十六日 記念 運動会
平成五年 十月 十六日 記念 演劇会
平成五年 十月 二十三日 四十周年記念式典 祝賀会

四十周年記念事業実行委員会記念品

大山小学校創立四十周年記念事業の一環として左記の品々を寄贈いたしました。

大山小学校へ

- 一、スリッパ 二百足
 - 一、体育館 暗幕の一部
- 大山小学校児童へ
- 一、祝菓子

大山小学校 創立四十周年記念事業実行委員会

委員長 市井 俊夫

副委員長 市井 俊夫 中島勢津子

一ノ瀬喜子

庶務 山本 恵子・長岡 洋子

塩原 雅子・蓮田 眞知

会計 文字山ヨシイ・津村 進

増岡奈美子・関根 則子

会計監査 古川 恵子・塩原 誠一

森本 礼子

運営委員

記念祝賀会

中島勢津子・伊藤 和子

記念誌・記念事業

山本 恵子・高橋 慎一

佐藤 静子

中島勢津子

バザー

相談役

校長 伴 二男

歴代校長

稲葉 捨己 川島 伴作 川村 義昌

坂本 守 石井 定男 村田 績雄

岩本 重夫

歴代PTA会長

鈴木幸一郎 春原 重春 永井 萬治

斎藤 秀之 佐野 幹夫 清水 義雄

入倉 徳明 中村 二平 丸山 睦和子

鴨志田将男 石井 康雄 石突 攻

町会長

田淵 威 橋本 勝次 塩原 江次

堀越八重子 坂根 茂雄 渡辺 真平

春原 重春

創立四十周年記念誌

平成五年十月二十三日

編集発行 板橋区立大山小学校
創立四十周年記念事業実行委員会

印刷所 株式会社 朝陽社
板橋区南町50-3
☎03(3955)5651

